

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

第3類医薬品

患部に留まり直接効く

歯肉炎・歯槽膿漏薬

デントヘルスR

歯ぐきの腫れ・出血・痛み、口内炎に

【特長】

デントヘルスRは歯ぐきや歯周ポケットに指で塗り込む塗布タイプの歯肉炎・歯槽膿漏薬です。

- 歯ぐきのはれ・出血・痛み、口のねばり、口臭といった歯肉炎・歯槽膿漏の諸症状、口内炎に優れた効きめがあります。
- だ液に流されにくい滞留処方で、4つの有効成分が患部に留まり歯ぐきの奥まで浸透し、すぐれた効果を発揮します。
- 歯ぐきに塗りやすく、爽やかな使用感のゲルタイプです。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	味覚異常

3. しばらく使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効 能

歯肉炎・歯槽膿漏における諸症状(歯ぐきの出血・発赤・はれ・うみ・痛み・むずがゆさ、口のねばり、口臭)の緩和、口内炎。

用法・用量

歯肉炎・歯槽膿漏:1日2回(朝・晩)ブラッシング後、適量(約0.3g、約1.5cm)を指にのせ、歯ぐきに塗り込んでください。

口 内 炎:1日2~4回、適量を患部に塗ってください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (2) 歯科用にのみ使用してください。

成分(100g中)

成分	含量	はたらき
グリチルリチン酸二カリウム	0.4g	抗炎症作用により、歯ぐきのはれ・発赤を緩和します。
アラントイン	0.3g	組織修復作用により、歯ぐきからの出血をおさえます。
ヒノキチオール	0.1g	組織収斂作用により、歯ぐきをひきしめ、はれを緩和します。
セチルピリジニウム塩化物水和物	0.05g	殺菌作用により、歯周疾患の原因となる細菌の増殖をおさえます。

添加物として、カルボキシビニルポリマー、ヒプロメロース、ポビドン、アルギン酸Na、pH調整剤、グリセリン、エタノール、ポリソルベート60、ステアリン酸ソルビタン、ショ糖脂肪酸エステル、流動パラフィン、香料、L-メントールを含む。

保管及び取扱い上の注意




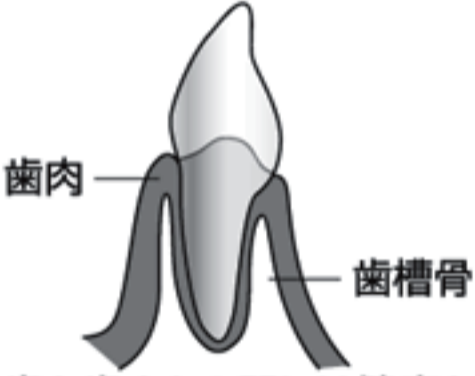


- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)。
- (4) 使用期限が過ぎた製品は使用しないでください。

歯槽膿漏は、はっきりとした自覚症状の少ない歯ぐきの病気で、歯を失う原因になります。症状に気づかずに、そのままほうっておくと歯ぐきが退縮し、最後には歯が抜けてしまうこともあります。

〈歯肉炎・歯槽膿漏の諸症状〉

- 歯ぐきが腫れている ● 歯をみがいたときに出血しやすい
 - 疲れたときに歯ぐきがうずく(痛む) ● 朝、口の中がねばつく ● うみが出て口臭が強い
- こんな症状に気づいたら大切な歯のためにデントヘルスRで早めのお手当を。

◎歯ぐきの状態と歯槽膿漏の進行(イメージ図)

健康な歯ぐき	歯肉炎	歯槽膿漏
 <p>色：薄いピンク色 感触：ひきしまり弾力がある 形：歯と歯の間にしっかり入りこんでいる</p>	 <p>色：赤みを帯びる 感触：腫れてプヨプヨしている 形：まるく厚みをもってふくらんでいる 症状：出血しやすい、口臭</p>	 <p>色：赤紫色になる 形：退縮して歯が長く見える 歯と歯の間にすき間ができる 症状：血やうみがでる、強い口臭</p>
 <p>歯肉 歯槽骨</p> <p>歯と歯ぐきの間には健康な状態でも1~2mmの溝があり、ここに汚れや細菌が溜まりやすい。</p>	 <p>プラーク 歯石 歯周ポケット</p> <p>歯と歯ぐきの中のプラークが歯ぐきに炎症をおこし、歯周ポケットができる。</p>	 <p>プラーク 歯石 歯周ポケット</p> <p>歯周ポケットが深くなり、歯を支えている骨も溶け出し、歯ぐきは下がっていく。歯がグラグラし、最後には歯が抜ける。</p>

歯肉炎・歯槽膿漏の予防法

- 歯と歯ぐきの境目にプラークがたまらないように丁寧にブラッシングしましょう。
- 歯科医院で定期的に歯石除去、ブラッシング指導などを受けましょう。
- 歯肉炎・歯槽膿漏は、食事や歯みがき、疲労、喫煙などの生活習慣と密接に関わりのある生活習慣病です。生活習慣を見直すことも予防には大切です。

◇歯槽膿漏の予防には[デントヘルス薬用ハミガキSP]をお使いください。

ライオン株式会社
〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7

お問合せ先
お買い求めのお店又は下記にお問合せください
ライオン株式会社 お客様センター

0120-813-752

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)